

水銀・鉛等が多い。しかし資本及び技術に乏しく、石炭の不足、交通の不便などが手傳つて工業は振るはず、鐵鑛その他は多く鑛石のまま輸出される。

マドリッドはイスパニヤの首府で、高原の中央に位置し、交通の要地に當つてゐる。バルセロナはこの國第二の貿易港で、附近には水力發電所が分布し、工業も盛んである。

ポルトガルの首府リスボンは天然の良港で、風景の美しいところである。

イタリヤ 北にアルプスの天險を負ひ、南の方地中海へ長く突出した半島と附近の島々どから成り立つてゐる。

アルプスの西端から起るアペニン山脈は、半島を縦に通つてシシリー島に及び、更にその續きは北アフリカのアトラス山脈となつてゐる。この山脈に沿つて火山帯が通り、その中に有名なベスビヤス・エトナをはじめ、多くの火山がある。イタリヤは世界でも火山や地震の多い國である。

半島部はよく地中海性氣候の特色を示し、青い空、

強い日光に輝く南歐の明かるさに満ちてゐるが、夏期の乾燥が甚だしい上に、森林の濫伐や牧畜の結果として、岩石の露出したところが多い。乾燥した石灰岩の山地では、オリーブ樹が栽培され、温暖な海岸地方には、レモン・いちじく等の果樹園が多い。葡萄は國內各地に栽培され、葡萄酒の産額はフランスに次いでゐる。

北部のポ・川流域にあるロンバルジャ平野は、この國の主要な農業地である。小麦・玉蜀黍・馬鈴薯・甜菜・米等を産し、又養蠶も行なはれる。

鑛産物中、水銀や硫黄は世界でも一、二を争ふ産額があり、又良質の大理石を産するが、石炭・鐵・石油等の重要鑛物は乏しい。

近年アルプス地方の豊富な水力を利用して、ミラン・トリノ等、北部の諸都市を中心に、纖維工業のほか、いろ／＼の工業が興つた。

この國はラテン族と舊教の本源地で、かつてヨーロッパ文化の中心をなしたところである。住民は美術・音楽に長じ、熱情的である。毛髪と眼は黒味を帯びて

暫定 中等地理 一

文部省

(後) ¥ .80

(51)

目 録

四 アフリカ	三
(一) 北部アフリカ	三
(二) 中部アフリカ	三
(三) 南部アフリカ	三
(四) 東部アフリカ	三
(五) 島	三
五 アジア	三
(一) 朝鮮	三
(二) 中華民国	三
(三) 印度支那半島	三
(四) マレー諸島	三
(五) 印 度	三
(六) 西部アジア	三
(七) シベリヤ	三
(八) 中央アジアとコーカサス	三
六 大洋洲	三
(一) オーストラリア	三
(二) ニューギニア	三
(三) 太平洋諸島	三
七 南極地方	三
(一) 北極地方	三
(二) 南極地方	三

昭和 21 年 12 月 10 日 印刷 同日 翻刻 印刷
 昭和 21 年 12 月 14 日 発行 同日 翻刻 発行
 (昭和 21 年 12 月 14 日 文部省 検査済)

著作権 所有 著 作 者 文 部 省

APPROVED BY MINISTRY
 OF EDUCATION
 (DATE Dec. 10, 1946)

東京府神田區岩本町三番地
 中等學校教科書株式會社
 代表者 阿部眞之助
 東京府神田區谷町一丁目十二番地
 大日本印刷株式會社
 代表者 佐久間長吉郎

ゐる。人口増加が著しく、人口も甚だ密で、國外に出
 移移住するものが多く、在外イタリア人は約九百萬に
 及んでゐる。

今次の大戦に惨敗したため、資源に恵まれないこの
 國としては、國勢の回復に多大の困難を伴ふであら
 う。

首府ローマは半島の中央に位し、昔の大ローマ帝國
 の首府であつたところで、當時をしのばせる壯大な遺
 蹟に富んでゐる。又市内にはローマ法王廳のあるパチ
 カン市國がある。ベスピアスの噴煙を仰ぐナポリ灣頭
 のナポリは、商港であり、しかも風光の地として知ら
 れてゐる。ゼノアは北部平野の門戸をなし、この國第
 一の貿易港である。ベニス古來、水の都と呼ばれ、
 昔榮えた港である。

バルカン半島 地中海と黒海の間にある大きな半島
 で、アジアとヨーロッパとが相迫つてゐる地域に當つ
 てゐる。

西にはジナルアルプスの山地が連なり、ギリシャの
 山地に續いてゐる。アドリヤ海岸には特有な形の入江

と島が散在してゐて、陸地の沈降したことを物語つて
 ゐる。北東部にはカルパチヤ山脈から續くトランシル
 バニアアルプスが大屈曲をなし、ドナウ川を越えて更
 に東にのび、バルカン山脈となる。ドナウ川の流域に
 は、この半島に於ける主な平野が開けてゐる。半島の
 南部には、斷層によつて生じた切れ目の山地と、そ
 の間に散在する盆地があつて、地形が複雑である。
 海岸線も極めて複雑で、到るところに灣や半島があ
 り、無數の島々によつてちりばめられたエーゲ海は、
 多島海の名にふさはしく、陥没による結果であること
 を示してゐる。

西部及び南部の海岸地域は、イタリア半島と同じく
 地中海性氣候の特色をよく現してゐる。樹木が少く、
 オリブの栽培は山腹の急斜面に行なはれる。内陸は
 大陸性を帯び、高所は雨量が豊富で、森林が繁茂して
 ゐるが、黒海の沿岸には草地が多い。

古來、多くの民族が來住した地域で、且つ地形が複
 雑なことから、諸種の民族が割據し、しばしばそれら
 の利害が相反し、ために歐洲の騷亂をひき起す場合も

あつた。住民の大部分は農民で、ドナウ川流域の平野では小麦及び玉蜀黍の産額が多い。山間部では盆地や川の沿岸に小規模の農耕が営まれるほか、傾斜地や荒地を利用して羊・山羊の飼養が廣く行なはれてゐる。南部や附近の島々では、葡萄・オリブ・オレンジ等の果物がよく實り、又各地に煙草を産する。

ロシアをのぞけば石油に恵まれないヨーロッパに於いて、ルーマニアの油田は特に重要である。しかしその他には著しい鑛産物がなく、殊に石炭・鐵に乏しいことは、バルカン地方に工業の發達しない大きな原因の一つである。

ユーゴスラビヤは南スラブの諸族が合體して建てた國で、首府のベルグラードはドナウの河港であり、又鐵道の要點に當つてゐる。

アルバニアは土地が概ね高峻で、産業が振るはない。

ギリシヤは半島の南部と附近の島々からなり、盆地と海岸の低地では農業が行なはれ、煙草・乾葡萄・オリブ油等を産する。首府アテネは四千年來の古都で、アクロポリスその他の遺蹟は、往時の繁榮を物語

つてゐる。北部のサラニカは良港である。

ヨーロパトルコは地中海から黒海に通ずる水路の要衝に當り、住民にはトルコ人のほか、ギリシヤ人が多い。狭いボロボロス海峡は、沈水した谷の跡を示すもので、この海峡にのぞむイスタンブール（コンスタンチノープル）は水陸交通の要地である。この地は、かつて東ローマ帝國の首府として榮えたところで、又トルコのもとの首府である。

ブルガリヤの首府ソフィヤは、山間盆地の中心で、バルカン地方の幹線鐵道に沿つてゐる。

ルーマニアの住民は、ラテン民族のルーマニア人で、言語はイタリア語に類似する。トランシルバニアアルプスの山麓地方には、歐洲に稀な油田がある。ドナウ川下流一帯の廣い平野は、地味が肥沃で、小麦・玉蜀黍等の産が多い。首府ブカレストは南部平野の中心で、穀物の集散地である。

四 アフリカ

地勢・海洋 東は印度洋、西は大西洋に面し、北は地中海を隔ててヨーロッパに對し、アジアとは僅かにスエズ地峽によつて繋がつてゐる。

山脈としては、北端の高いアトラス山脈と南端にある山地のほか、特に著しいものがなく、大部分は臺地と高原狀の土地で、その間に大規模のコンゴ川流域の盆地やチャード湖を含む盆地などがある。臺地が海岸に迫つてゐるので、海岸平野は狭い。

東部には紅海から續く南北にびた長大な陥没地帯があつて、中にタンガンイカ・ヌヤサ等の細長い湖水をたへてゐる。その附近には約六千メートルのキリマジャロや、五千メートルを超えるケニヤなどの高い火山がそびえ、赤道附近にあつて氷河をいたゞいてゐる。

川にはビクトリア湖に發源するナイル川や、コンゴ川・ニール川・ザンベジ川等の長大なものがあるが、下流に急流があつて、海との連絡を妨げる。

印度洋岸は暖流で洗はれるが、南部の大西洋岸には寒流が流れてゐる。

氣候 大部分が熱帯で、殊にサハラ・スタン地方は暑熱が強いが、南北兩端附近と高原は比較的温和で、白人の生活にも適してゐる。

赤道附近は年中雨が多く、熱帯の密林にとゞされ、ゴリラ・チンパンジー等の類人猿や、犀・象・河馬等が棲息してゐる。その外側にある地方では、乾期と雨期のちがひが著しくなり、サバンナと呼ばれるまばらに樹木のある草原地帯を現し、獅子やジラフ・縞馬・かもしか等が棲んでゐる。

兩回歸線附近は貿易風帯に當り、極端な乾燥のため、北部に廣大なサハラ・リビヤの沙漠が横たはり、南部にカラハリ沙漠がある。大陸の北西海岸と南端附近は、冬に雨の降る地中海性氣候の地域である。

サハラの南からザンベジ川附近までの地帯に繁殖するツエツエ種は、家畜の害敵であり、人類にも惡疫を媒介する。

住民・政治 原住民のうち、カラハリ地方の hottentots・ブッシュマンや熱帯密林に住むピグミーは、狩獵を主とする最も原始的な生活を営んでゐる。ニグ

ロはサハラ沙漠以南を居住地とし、身體が强健で、よく熱帯の氣候に耐へ、粟や玉蜀黍などを耕作してゐる。食物にはこれらのほかに、ヤム芋・バナナ等を用ひ、草葺の丸屋根小屋を家とし、村落をつくつてゐる。

サハラ沙漠以北から、東部のソーリ半島方面にかけては、セム族及びハム族が分布してゐる。皮膚は褐色であるが、歐洲人に似た容貌を有し、頭を布で包み、長い衣服をまとふ風習がある。比較的文化的が高く、回教を信じてゐる。乾燥地では山羊や羊の遊牧を行ない、川の沿岸や泉地(オアシス)では農耕を営んでゐる。

エジプトとリベリヤ・エチオピアをのぞくほか、すべて歐洲諸國の植民地である。面積では佛領が最も廣いが、經濟的には英領が最もすぐれてゐる。

交通・産業 鐵道の比較的發達してゐるところは、ナイル川の三角洲平野、北西のアトラス地方及び南部地方に限られ、他は所々に海岸の港と奥地とを結ぶ線が敷設されてゐるのみである。しかし英國の計畫にかゝる大陸縦貫線は次第に工事が進み、南部では東西の横斷線が間通してゐる。又近年、サハラを横斷する自

動車交通も行なはれるやうになり、更に航空路によるヨーロッパとの連絡も開けてゐる。

産業はまだ一般に發達せず、原住民の營む熱帯農業が主である。大規模な耕作は、エジプト地方のほか殆ど見られない。白人による牧畜では、南阿の羊・牛が最も重要で、鑛業としては南阿聯邦の金の採掘が殊に有名である。

(一) 北部アフリカ

アトラス(バーバリ)地方 この地方はサハラ沙漠の北に當る地中海の沿岸地帯である。アトラス山地の高所は四千メートル以上に達し、山頂には雪をいたゞいてゐる。氣候は地中海性の特色を呈し、適度の雨量があり、麥類・オリブ・葡萄等を産し、羊・山羊・牛が廣く飼はれてゐる。

地中海を挟んでヨーロッパに對する地方であるから、古くから對岸のフランス・イタリア・イスパニヤ等との關係が深い。この地方はトリポリ・チュニス・アルゼリヤ・モロッコ等の諸地域に分れてゐる。町は平屋根の窓の少ない家が密集してゐて、烈日に白く輝く特

有の都市景観を現してゐる。

サハラ地方 大部分が廣漠たる沙漠地域で、一般に四、五百メートルの臺地であるが、中には三千メートルに達する岩石山地が平地から急にそびえてゐるところもある。沙漠には波浪のやうに長く連なる砂丘が發達し、砂の海の狀を呈する。

氣候は極端に大陸性で、數年間全く雨を見ない地域もあり、稀に猛烈な驟雨の襲ふ場合もある。居住に適するところは泉地であつて、泉のほとりに椰子や杏などの果樹が茂り、そこに聚落が出來てゐる。近時一部に掘抜井戸による灌漑が行なはれてゐる。

エジプト 大部分はあまり高くないテーブル狀の高臺や丘陵から成つてゐる。中部以西はリビア沙漠の一部に當り、岩石が露出してゐる。ナイル川はスタン地方に於いて青ナイルその他の支流を合はせてからこの國に入り、臺地の中に狹長な谷をさざみ込み、河口附近には標式的な三角洲をつくつてゐる。

住民は大部分がハム族のエジプト人で、回教徒であり、アラビア文字を使用する。居住地は殆ど河岸の平

地や泉地附近に限られてゐるので、住民はそこに密集

し、殊にナイル下流は人口が密である。暑熱を避けるために家屋は厚い壁を用ひ、又、飲料水は素焼のかめに入れて、表面の蒸發によつて冷却させる方法をとつてゐる。獨立國ではあるが、英國の勢力が強い。

ナイル川は古來定期的氾濫で有名な川であるが、百年ほど前から、所々に堰堤を築き、大きな貯水池をつくつて河水の調節をはかるやうになつた。アスアンその他の大規模な堰堤によつて、灌漑の便が整へられたので、年二、三回の收穫が擧げられるやうになり、農作物の増産をもたらした。

ナイル川の三角洲及び河谷から良質の綿を産し、又小麥をはじめ、玉蜀黍・米・甘蔗等もつくられる。

首府カイロは、人口約百三十萬、アフリカ第二の大都市で、附近にあるピラミッドやスフィンクスなどは、古代文化を物語るものとして有名である。

スエズ運河は一八六九年(明治二年)に佛人レセップスによつて、アフリカとアラビヤとの地峽部を切り開いてつくられたもので、一部は湖水を利用する。沙

漠地帯を通ずる全長百六十五キロに及ぶ大運河である。運河の北端にあるボートサイドの埠頭には、この世界交通文化の偉大な功勞者を記念する像が高く立つてゐる。

(二) 中部アフリカ

アングロエジプトスタン、エジプトの南方にあつて、廣い窪地をなし、北風によつて運ばれた砂塵が堆積して肥沃な黄土地域をつくつてゐる。ナイルの本支流はこの地方を潤してゐるが、中流以下に數箇の急流がある。

黄土地域には綿の栽培が盛んであり、アラビヤゴムの産出も多い。この地方は英國とエジプトによる共同政治が行なはれてゐる。

スタン及び上ギネヤ サハラ沙漠の南方、ギネヤ灣岸に至る地方のうち、その内陸部がスタン地方で、土地は概ね平坦な草原をなしてゐる。その南に續くギネヤ灣北岸地方が上ギネヤで、高温多雨の森林地帯が廣く分布し、沼澤の多い海岸の低地は、黄熱病などの流行する不健康地である。

斜してゐる。

氣候は一般に温和で、白人の居住に適し、南端附近は地中海性氣候を呈する。南東部の海岸地帯は適度の降雨があつて、小麦・玉蜀黍・甘蔗等を産し、又二部には葡萄も栽培される。雨量の少ない高原では、羊や牛の放牧が行なはれる。北に行くに従つて乾燥し、カラハリ沙漠に移り變る。

原住民のバンツニグロは一般に勞役に従事し、イギリス人及びこの地方に最初に移住したオランダ人の子孫であるブーア人とが實權を握つてゐる。

大部分はイギリスの領土で、中でも自治領の南阿聯邦は最も開發が進んでゐて、ヨハネスブルグを中心とする金と、キンバリー附近の金剛石とは、世界屈指の産額を有し、羊毛と共に重要な輸出品となつてゐる。ケープタウンはテーブル山の麓にある水陸交通の要地で、印度洋岸のダーバンと共に南阿の主な門戸である。

(四) 東部アフリカ

紅海の沿岸からモザンビク海峡に至る地方で、廣い面積を占める高原の氣候は割合に涼しいが、狭い海

スタン地方ではアラビヤゴム・落花生等を多く産し、上ギネヤではココア・椰子油・綿等が多く、殊に黄金海岸のココアは世界第一の産額を有し、主としてヨーロッパへ送られる。黄金海岸・象牙海岸・穀物海岸等の名は、輸出品の名に由來するものである。

スタン及び上ギネヤの地方は、回教を信ずるニグロの住地で、多くの政治區域に分れてゐる。そのうちリベリヤは、米國で解放された黒人の建設した獨立國で、國名は自由に因んだものである。

下ギネヤ コンゴ川の流域を中心とした地方で、カメルン・コンゴ・アンゴラ等の諸地域に分れてゐる。北部と南部はサバンナをなし、中部には赤道を挟んで高温多雨の密林地帯が横たはつてゐる。主にバンツニグロの住する未開地で、開拓はアフリカ中で最も後れてゐる。たゞベルギー領コンゴの南部からは銅・金剛石・ラジウム等を多く産する。

(三) 南部アフリカ

英領のローデシヤ以南の地で、内陸は一大高原をなし、その南の縁は高くなつて山脈狀を呈し、海岸に急

岸の低地は酷熱である。

ビクトリア湖の北方にあるウガングは英國の保護地で、綿の栽培が盛んに行なはれ、英國の植民地ケニア及び委任統治地タンガニカには、良質のコーヒーとサイザル麻を多く産する。その他海岸地方にはコブラ、椰子油・ゴム・甘蔗等、高原地方には象牙・天然ソーダ等の産がある。

この地方は近年開發が進み、海港と内陸とを連絡する鐵道も次第に延長し、湖上の水運も利用されてゐる。モンバサ・ダルエスサラム・モザンビク等は主な港市である。

北部のエチオピア(アビシニヤ)は大陸最高の高原地域を占め、夏季に降雨が多く、ナイル川支流の水源をなしてゐる。産物に乏しいが、優良なコーヒーを産し、重要な輸出品となつてゐる。高原の中心地アジスアベバは二千五百メートル餘の高所にあり、紅海の出口に近いジブチ港との間に鐵道を通じてゐる。高原の周縁にあるソマリランド・エリトリアは、大部分乾燥した不毛地である。

(四) 島

大陸の北西に近い大西洋上には、カナリヤの原産地カナリヤ諸島があつて、富士山に似た火山があり、その南のケープベルデ諸島も新しい火山島である。又セントヘレナ島は古い火山島である。

印度洋には、モザンビク海峡を隔てて、世界第四の大島マダガスカルがある。島の大部分を占める山地の東側は傾斜が急で、雨が非常に多く、海岸の低地には熱帯性の森林が繁茂してゐる。これに反し、西側は傾斜がずつと緩かで、高原がひろがり、雨も比較的少く、牧畜や農業に適するところがある。黒鉛はこの島の重要な産物である。

五 ア ジ ャ

自然 世界の屋根といはれるバミル高原を核心として、多くの山脈が派出してゐる。東には高峻なヒマラヤ山脈が連なつて、印度の低地ののどみ、崑崙山脈との間に、世界で最も高いチベットの高原を抱いてゐる。

つて船舶を悩まし、作物を害することも少なくない。

気温が低く降水量の少ないシベリヤには、針葉樹林と白樺の類が繁茂し、北極海の沿岸一帯は凍原をなしてゐる。大陸内部の乾燥した地方では、草地が廣い面積を占める。日本から中國にかけての温帯林には、椎・樟等の常緑樹が多い。熱帯多雨の地方には大森林があつて、熊が樹幹にまとい、梢には半齒類が着生してゐる。

猛獣には朝鮮の北部まで分布する虎、中國の山地にかけて棲む豹、マレー半島の黒豹があり、北部の森林には貴重な毛皮を供給する黒貂と海岸には獵虎が棲息する。

住民 アジヤの南西部には、アラビヤ・イランその他の諸族が住んでゐる。古代は比較的に高度の文化を示してゐた。シベリヤにはスラブ族のロシア人が移住して農業を営み、嶺山などの經營にも實績を擧げてゐる。

トルコ族は小アジア及び中央アジアから新疆の草地に居住し、都市の市場(バザール)を中心に生活するも

北部には天山山脈が東にのび、更にその北にはアルタイそのほかの山地があつて、蒙古高原・タリム盆地の北縁をなしてゐる。西方にはヒンズークシとスリマンから發して、小アジアのタウルスに達する山系がある。廣い低地は北極海斜面と大陸の西部に見られるが、印度と中國の平野が最も重要である。南方に突出するアラビヤと印度の半島は、臺地狀の地形を現す。印度支那半島には、南方に向かふ山地群があつて、東印度諸島に連絡する。フィリピン及びわが國附近の美しい弧狀列島と大陸との間には、日本海・東支那海・南支那海があつて、陸棚をなす部分が廣い。又、印度洋の北部はアラビヤ海とベンガル灣に分れてゐる。

冬はバイカル湖附近に著しい高氣壓が發達し、太平洋に向かつて、寒冷で乾燥した冬期季節風が吹く。夏はこの地域が低氣壓地帯となるので、反對に濕潤な夏季季節風が起つて、大陸沿岸に雨を降らせる。印度の夏の季節風は特に顯著である。中央部からアラビヤにかけては常に乾燥し、内陸流域の部分が廣く横たはり、塩湖が所々に分布してゐる。南東の海上には颱風が起

のが多い。蒙古族は蒙古の乾燥地帯に遊牧の生活を送る。南東部には印度支那族があり、島嶼にはマレー族が居住して、水田の耕作を行なふものが多い。チベット族は高原でやぐを放牧する。大陸の東部には漢族及び日本族が密集してゐる。人口は十一億を超え、世界總人口の半ば以上を占めるが、その分布は甚だ偏してゐる。日本・中華民國東部・印度の諸平野やジャワ島は世界的高密度地帯を形成するが、その他の地域は極めて疎で、特に内部アジアからシベリヤにかけては、密度一人にも達しない土地が廣く横たはつてゐる。

交通・産業 日本・ジャワ・印度及び中華民國の一部をのぞくと、鐵道の發達は不十分である。一般には運搬に駄獸が使用され、平坦な蒙古高原やマレー諸島の一部では、自動車が必要な交通機關となつてゐる。太平洋と印度洋に注ぐ河川には水運の便のよいものが少くない。

季節風帯には種々の栽培植物がある。米作は雨量が多くて気温の高い土地で最も多大の收穫を擧げ、中國・印度・印度支那・日本には廣く水田が發達する。ジャ

アやフィリピンなどの山間では、谷壁にも大規模な棚田が見られる。製茶及び養蠶もこの地域の特有な産業である。綿は印度で盛んに作られ、ゴム樹は、氣温が高くて排水のよいマレー半島の山地を第一として、大規模に植栽される。甘蔗はマレー諸島・印度等で廣い地域に栽培され、椰子園の經營は熱帶の海岸地方で一般に盛んである。

北部の地方からは種々の用途に供せられる大豆を産出し、極東近海の漁業は甚だ盛んである。コーカシヤ及びメソポタミヤ地方とホルネオ・スマトラの石油は重要な産物であり、中國とシベリヤには豊富な炭田がある。鐵鑛は中國と印度・マレー半島に産し、中國のタングステン鑛や、マレー半島とこれに續くマレー諸島の錫鑛は世界有数の産額を示してゐる。

しかしアジヤの現状では、近代工業の著しい發達は一部に限られ、全體としてはまだ原料供給の域を脱しない。

(一) 朝鮮

自然 朝鮮はアジヤ大陸東部に突出する一大半島で、

がない。北部の氣候は大陸的で冬甚だしく低温となり、河川は凍結する。いはゆる三寒四溫の變化は、冬期に於ける大陸高氣壓の消長によつて生ずる。夏の降雨は年雨量の大半を占め、豪雨を伴ひ、洪水を起し易いが、夏以外は概して乾燥してゐる。南岸では寒暖兩海流の影響で、晩春には濃霧が起り易い。

文化 住民は朝鮮人で朝鮮語を用ひ、特有の文字に諺文がある。人口は三千萬以上で、密度はわが奥羽地方にほぼ等しい。その分布は産業の發達に應じて、北鮮より南鮮に、東部より西部に多く、農業の盛んな南西部が最も多數の人口を支へてゐる。

農業は全鮮の到るところに行なはれ、住民の八割以上は農民である。米は氣温が高く水利のよい南西部の平野地方に特に多く産出し、海岸には大規模な干拓も行なはれてゐる。中鮮から北鮮へかけては畠地が多く、麥類・粟・大豆・小豆・馬鈴薯等が作られる。

綿の栽培は陸地綿を主として、全羅南道の榮山江流域に行なはれる。養蠶も次第に發達し、京城・大邱・全州では、製絲が盛んである。北西部では柞蠶の飼育

中華民國及びソビエト聯邦領との間は長白山脈・鴨綠江・豆滿江が自然の境界をなしてゐる。地形は比較的に單調で、山地が多く、樹木が疎で岩石が露出した部分が廣い。

南鮮から中鮮にかけては、太白山脈が東部に片寄つてゐるので、その東側は急崖を示して日本海にのぞみ、平野に乏しい。西側には數條の山脈が派出して丘陵性の山地をなし、その間に洛東江・漢江その他の河川が緩かに流れ、下流には數多の小平野が開けてゐる。

西海岸には灣や入江が非常に多く、南西部には大小無數の島嶼が散在して多島海を現してゐる。黃海の海岸では潮汐干満の差が大きく、沿岸には干潟が續いて干拓に適してゐる。

北鮮地方は狼林山脈や蓋馬高原その他の山地が大部分を占めて平野に乏しく、國境には白頭山がそびえてゐる。西朝鮮灣にのぞむ西鮮地方は、丘陵性の山地や低地で占められ、その間に大同江などの流れがある。

氣候は大陸の影響を受けて寒暑の差が大きい。南部は比較的温和で、日本の中國地方や北九州と大差

が行なはれる。蓋馬高原では火田民が燐畑をつくつて、極めて粗放な農耕を営み、粟・燕麥・馬鈴薯を栽培する。

牧畜では牛が多く、農耕や運搬に使用され、北西部と濟州島などでは、肉牛の飼養が盛んである。近來北鮮では羊の飼育も行なはれるやうになつた。森林は南鮮では長年の濫伐で荒廢したが、近年は植林の効果が現れてゐる。これに對し北鮮では、寒帶性の針葉樹林が廣く分布し、朝鮮松・落葉松等の良材を出す。鑛産では金・鐵・石炭が所々に採掘されるほか、黒鉛の産額が甚だ多い。

沿岸では漁業が盛んで、日本海の鰺・明太魚、黃海のぐち・鯖等の漁獲はすぐれてゐる。製塩業は、干潟の發達が著しい上に晴天が續き、潮汐干満の差の大きい西海岸で特に盛んである。

從來は小規模な各種家内工業が主であつたが、最近は大規模な工場經營が行なはれるやうになつた。水力發電の事業も興り、製絲・製鐵・製紙・蠶業・紡績・窒素肥料・砂糖等の生産が増加した。しかしまだ原料

生産が多い。

交通機關として、今でも牛・馬や轎が用ひられるが、道路は修築され、主要道路には定期自動車の便がある。鐵道では釜山から京城を経て新義州に至る線は半島を縦貫する幹線で、これから西部平野の所々に支線が出てゐる。鴨綠江・大同江・漢江等は流れが緩かで水運の便があり、河口港の發達が見られる。

遼寧 南東岸の釜山は南の關門で、海陸連絡の設備がよく、附近に陶器・紡績等の新式工業が行なはれる。慶州及びその附近には新羅の古蹟が多い。大邱は古い都市で近年製絲業などが興り、定期の大都市は有名である。又近郊にはりんごの栽培が盛んである。

湖南平野は米・綿等の農業が盛んで、群山・木浦等の港がある。木浦は附近の綿作によつて發達した港市で、紡績工場もある。

太白山脈中の金剛山は、花崗岩の尖峰、溪間の瀑布、古寺などによつて朝鮮第一の勝地をなしてゐる。

濟州島は大きな火山島で、緩かな傾斜を示し、樞野には數百の側火山が並び、牧牛と海女の出稼ぎで著名である。

北東隅は滿洲の一門戸をなし、清津・羅津の港が發達してゐる。豆滿江上流の茂山は、豊富な磁鐵礦の埋藏で有名である。

(二) 中華民國

自然 面積は甚だ廣大であるが、山地が廣い。西端のパミル高原から東へ高峻な崑崙・カラコルム・トランスヒマラヤ・ヒマラヤ等の諸山脈がのびて、四千メートルの高度を有するチベット高原を抱いてゐる。崑崙山脈は東にのびて、秦嶺(北嶺)となる。北西部には天山・アルタイ等の山脈とタリム盆地がある。北部に蒙古高原が横たはり、その南縁には數條の山脈と盆地があり、大行山脈はその東端に當る。蒙古高原の東縁をなす大興安嶺は緩かな山地で、南北に連なり、滿洲の小興安嶺や長白山脈などの低い山地と共に、滿洲平野を圍んでゐる。

である。

中部朝鮮の漢江の流域は、朝鮮で最も重要な位置を占めてゐる。高麗の舊都である開城の附近には、有名な朝鮮人蔘が栽培されてゐる。京城は漢江下流に近い小盆地を中心として發達した首都で、文化の中心地をなし、京仁工業地帯には各種の工場が建ち並んで來た。仁川は三池港と同様の開門式の港で、京城の外港をなしてゐる。

大同江の流域は丘陵性の土地で、鐵礦・無煙炭の産がある。平壤はこの地方に於ける交通の要地で、製絲・製糖業等の工業が發達し、兼二浦は製鐵業で興つた町である。平壤の南部には樂浪の準平原として知られる起伏の極めて低い丘陵地がある。こゝでは古墳が發掘されて、貴重な古美術品などを出した。

平安北道には東洋第一の稱ある雲山その他の金産地がある。鴨綠江にのぞむ新義州は、國境都市で、木材の集散が多く、製材・製紙の工場がある。

東朝鮮灣にのぞむ元山は貿易港である。北東部は高度の最も大きい地域で平地に乏しいが、咸興は水力電

揚子江の上流には、數條に分れて南走する印度支那山系がある。又、揚子江の中流・下流以南にひろがる山地は南嶺と總稱され、一般に高度は著しくないが、海にのぞんでは入江に富み、山地の沈降を示してゐる。黃海の奥には山東半島と遼東半島とによつて區切られた渤海があり、一般に浅い海をなしてゐる。

平野では滿洲平野と黃河・揚子江の下流にある廣い平野が著しいが、そのほか揚子江の流域には湖廣盆地や江西盆地があつて、低いところは廣い湖水となつてゐる。又、上流に近く丘陵性の巴蜀(四川)盆地が横たはる。南部では珠江の下流域にやゝ廣い平野を見るにすぎない。滿洲の北縁、シベリヤとの國境に黒龍江が流れ、松花江と合する附近には、廣大な低濕地がある。

滿洲から華北・華南に至る地域の東部は、季節風の影響を受けることが著しく、冬は北西の風が多く、乾期となり、南東風の卓越する夏は雨期となる。華南はかなり多雨であるが、北方に行くに従つて雨量は減少する。年雨量の大部分が、作物の生育期である夏に集

申して降ることは農業上有利であるが、北方では年による雨量の變化が甚だしく、ために旱魃や洪水に見舞はれ易い。

夏は北部でも相當の高溫となつて、南北の差はそれほど甚だしくないが、冬は北部では零下二、三十度に下降することも珍しくない。

滿洲・華北に於ける冬の三寒四溫、春の黃砂は著しい現象である。

滿洲の北部・東部の山地には白樺・滿洲櫟及び落葉松などの寒帶性森林があり、華南の亞熱帶性森林や竹林と著しい對照を示す。しかし森林を見ない山地も廣大である。内地地方では大陸性氣候を呈し、雨量は少く、殊に蒙古から西部地方には沙漠が横たはる。

文化 人口は四億五千萬ぐらゐと推定され、その大部分は中國本部の平野に集中してゐる。滿洲西部から蒙古にかけて蒙古族、新疆省にはトルコ族、チベット・西康・青海省にチベット族が住んでゐるが、これらの地方では人口密度は極めて小さい。原住民としてはこのほかに、滿洲にマングース族の滿洲人がゐるが、今

られる。

石炭は滿洲・華北に多く、鐵礦は滿洲・華北及び揚子江沿岸に埋藏されるが、その開發は滿洲が最も進んでゐる。殆ど世界の總量に相當するアンチモンは湖南省から産出し、江西省の南部山地のタングステンと共に貴重な資源である。

工業では從來の手工業のほかに、豊富な石炭と自國内原料をもつて、中國本部に製絲・紡績・製鐵、滿洲に製鐵・パルプ・輕金屬工業が興つてゐる。大規模な水力發電所は、滿洲の松花江・鴨綠江に建設され、滿洲に於ける工業發達の重要な動力を供給する。

交通には、北部で駄獸の使用が多く、中部以南では舟の利用が盛んで、南船北馬の言葉は、よくこの状態を表してゐる。鐵道の發達は近年滿洲に於いて著しくなつたが、中國本部ではまだ貧弱である。しかし自動車の利用は進んで來た。

農産 中國本部北部地方 大部分は黃河の流域と山東半島の地域である。黃河はオルドスの沙漠地を迂迴し、山地の間に急流を現し、下流に廣大な沖積平野を形成

は衰へて山地に残存するにすぎない。

滿洲から中國本部にかけては漢族が主で、その人口密度は甚だ大きい。滿洲へは比較的近年になつて移つたものが多い。漢族は勤勉で農耕と商業に長所を示し、寒暑の氣候に適應する力が強い。風俗・言語は地方によつて著しい差異があり、言語は滿洲・華北に於ける北官話、華中に於ける南官話、華南に於ける廣東語などに區別される。一般に北方では村落に土壁をめぐらし、南部の村では樹林の蔭に家屋が散在する。都市は城壁で圍まれ、特に華北では特に規模の大きな城壁が見られる。

耕地の分布は殆ど中國本部と滿洲に限られ、作物は地方によつて著しく種類や生育季節を異にする。主要作物では高粱・粟・玉蜀黍・小麥が、滿洲から華北に多く、華中から華南では米が主である。滿洲の大豆は特産物で、華北の綿も重要である。役畜として、北部では騾と驢とが馬と共に使用され、華中・華南では水牛や黄牛が多い。豚・鶏は到るところに飼育されてゐる。内地の乾燥地では、泉地の附近に僅かな耕地が見

して渤海に注ぐ。河水は流域に厚く堆積する黃土を流すので、常に濁つてをり、百年河清を待つゝの狀を現す。下流の平野では、黃河の河床は附近の平地より高く、洪水に際して古來しばしば河道が變遷した。肥沃な黃土の土地は階段耕作が行なはれ、高粱・小麥・大豆を作るが、年によつて旱魃や豪雨の害を受け易い。崖面に穴居狀の家を構へるところもあつて、この地方の特色となつてゐる。

山東山地は平野の上に急にそびえ、特に泰山は有名である。山東半島からは柞蠶絲と絹綃及び牛を産する。青島は膠州灣にのぞむ港市で、工業が發達し、鐵道で濟南と結ばれる。この沿線に淄川・博山の炭田と金嶺鎮の鐵山がある。

華北では、黃河や白河などの沖積平野が、早くから重要な意味をもつて、中原と名づけられた。渤海の沿岸は遠淺で雨が少く、蒸發の盛んなことを利用して、天日製塩が行なはれる。

北平は典型的な城壁都市で、内城と外城に分れ、樹木が多い。内城では東西・南北に規則正しく街路が通

じ、中央に紫禁城などの壯麗な建築があり、規模は雄大を極める。外城には商店が多い。天津は白河の河口近くにあり、重要な貿易港である。東方の開港場は、その有利な位置によつて古くから開發されてゐる。

西部山地の大部分は高原性で、階段耕作が目立つ。汾水・渭水の谷には古い文化が榮えた。山西省では、東部の炭田と、石佛で有名な大同附近の炭田は、その埋藏量の極めて大きいので著名であるが、その位置にはあまり恵まれてゐない。太原は汾水の谷の首邑、西安は渭水の谷の首邑で、咸陽と共に古都として知られてゐる。甘肅省の蘭州は羊毛の集散地で、青海・新疆省方面への要路に當る。

中國本部中部地方 揚子江（長江）は中國第一の長流で、水深は五十メートルに達するところもある。航行は諸外國に解放され、増水期には一萬噸級の汽船が中流の漢口まで、一千噸級の汽船は重慶まで、のぼることが出来る。増水期と減水期との差が甚だしく、減水期には河岸が急な崖となるので、河港には大規模な浮棧橋の設けられたところが多い。

氣候は溫和であるが、西に行くに従つて次第に大陸性となる。雨量は豊富で米作に適し、茶・綿・生絲等の産があり、重要な生産地域である。

揚子江下流地方は最も富裕なところで、人口密度も最も高い。浙江省の沿岸には漁業が盛んで、杭州には絹織物の産が多く、南部の温州附近は良質な蜜柑を産する。江蘇省の蘇州は、杭州と並んで古來風光美で知られ、南京は長い城壁で圍まれた首都で、郊外の中山陵は孫文の偉業を示してゐる。

上海は揚子江口に近い黄浦江下流にのぞみ、中國第一の貿易港として急に繁榮した。商工業の大中心地で、紡績業が特に盛んである。附近には密な水路網が發達して、クレークと呼ばれる。灌溉・排水と交通に使用され、水田や綿田を圍んで特殊な景觀を示してゐる。

揚子江中流地方の湖廣・江西の盆地は重要な農耕地で、洞庭・鄱陽等の湖水は、揚子江の水量を調節する。贛江の流域には茶が栽培され、九江はその積出港である。附近の廬山は避暑地として有名である。漢江が揚子江と合するところに、いはゆる武漢三鎮がある。そ

のうち、漢口は盛んな貿易港であり、漢陽には製鐵所があつて、大冶の鐵礦、江西省萍鄉の石炭を利用する。又、對岸の武昌は政治都市である。

三峡の急流を越えて四川省の巴蜀盆地に入ると、北西部に成都附近の沖積平野が開け、灌溉水路の發達が著しい。盆地内は丘陵性であるが、肥沃で氣候も溫和であり、人口密度が大きい。所々に塩井があつて、塩を産する。重慶は政治・文化の中心地である。

人口の稀薄な西康省の打箭爐は、深谷の底にある邊境の町である。峻嶒な山嶺を越え、苦力の背によつて、チベットに向かふ茶の輸送が行なはれる。

中國本部南部地方 珠江下流の三角洲平野をのぞいては山がちである。雨量が多く、亞熱帯性の植物が生育し、青々とした山林の景色は、中國の他の地方とは異なつてゐる。米・茶・甘蔗及び亞熱帯性の果實を産し、養蠶も盛んに行なはれる。福建省や廣東省の住民は海上生活に馴れて、漁業や航海に従事する。南洋方面に移住するものも多く、南洋華僑と呼ばれる。

福州と廈門は港市で、貿易港の廣東は、絹織物と花

筵を産する。廣東の附近は水路の交通が盛んで、水上生活者が多い。

香港の小島は、對岸の九龍と共に英國に屬し、港は自由貿易港である。市街は山腹につくられ、燈火のまばゆい港の夜景は美觀を呈する。

雷州半島の對岸に海南島がある。臺灣と同じくらの面積で、山地が多く、氣候は熱帯性を示し、椰子が繁茂する。まだ開拓は進まないが、鐵礦の埋藏が知られてゐる。

臺灣は琉球列島の南に位し、浅い臺灣海峡を隔てて、福建・廣東兩省に對する。東に片寄つて中央山脈が走り、中に新高山などの四千メートルに近い高峰がそびえる。西部には重要な沖積平野と臺地がある。

山地に、マレー族に屬する原住民が残存するが、住民の大部分は對岸から移住した漢族である。産業が進歩發達し、西部の臺灣平野では灌溉の施設が完備して、米が年二回とれるところもあり、甘蔗・甘藷茶の産も多い。山地には恰の良材を出し、山麓の樟園からとる樟腦は世界一の産額を舉げる。南西部海岸では天

日製塩が行なはれる。

都市は臺灣平野に多く發達し、北部の臺北、南部の臺南は、それ／＼文化の中心をなす。基隆は北方、高雄は南方に於ける近代式設備の整つた貿易港である。

東部の狭い臺東平野の開拓も進んで来た。

滿洲地方 東部の山地は、千メートル内外の高度を示し、森林におほはれる。その南部は丘陵性の遼東半島となり、柞蠶の放飼が行なはれ、柞蠶絲をとる。南部の大連は滿洲第一の港市をなし、港の設備が整つてゐる。鴨綠江と松花江の上流は、木材の運搬に利用され、安東及び吉林で製材が行なはれる。

東部の間島地方は、主に朝鮮人の開拓した農業地域である。東部山地が南滿洲平野に移る附近に、石炭・鐵鑛の埋藏が多い。撫順・本溪湖は豊富な石炭を産し、特に撫順は厚い炭層と露天掘とで有名である。鐵山では鞍山や廟兒溝が知られ、大石橋附近のマダネサイトの鑛床は、廣い面積に亘つてゐる。

南滿洲平野は遼河の流域に當り、最も開發の進んだ地域で、高粱・大豆をはじめ、各種の農産物が多い。

鐵道沿線には主要都市が並んでゐる。奉天は鐵道の集るところで、滿洲第一の都市となり、人口も百萬を超える。舊市街は城内と城外に分れ、新市街は驛の附近に發達して、新しい工場が多い。鞍山には附近で採掘される鐵鑛を用ひて、大製鐵所が出来てゐる。長春は南滿・北滿兩平野の境にある交通の要地に當る。

北滿洲平野は松花江の流域に横たはり、南滿と同様に農業が發達するが、小麥や粟は南滿より多い。ハルビンにはロシア人が創設した都市で、ヨーロッパ風の建物や公園の設備が完備してゐる。チチハルは交通の要路に當つてゐる。

大興安嶺の北部には森林もあるが、以西は高原狀で廣く、草地或は沙漠の狀態を現し、蒙古人の遊牧生活が行なはれる。ホロンバイル高原には羊が多く、ハイルは市場、滿洲里は國境の都市である。

熱河地方では山間の谷に漢人が移住して農業を営み、けしの産が多い。承德には清朝の舊離宮と庭園のほか、岩山の斜面に壯麗な喇嘛寺がある。

内蒙古、ゴビ沙漠の南部は内蒙古である。蒙古人の

居住地で、羊・山羊・馬の遊牧が主として行なはれてゐたが、近年南部には漢族が移住して農耕に従事するものも多くなつた。オールドス沙漠の北部では、五原の附近に黄河の水を引いて灌漑農業が行なはれる。

張家口（カルガン）・歸綏・包頭等の都市では、羊毛・毛皮の取引が盛んである。張家口の東にある龍烟鑛山は、良質の鐵鑛を埋藏する。

新疆省 天山山脈を境として天山南路と天山北路に分たれる。タリム盆地は廣い内陸流域を現し、タクラマカン沙漠があつて、砂丘は風に從つて動き、これを横断することは極めて困難である。ロプノールは古代から有名な湖水で、時々位置と形狀を變ずる特性がある。

住民のトルコ族は回教を信じ、雪どけの水の流れる山麓の泉地で農業を営み、夏は高い山地の草原に放牧を行なふ。ヤルカンド・カシガル・ウルムチは泉地の都邑で隊商が集り、甜瓜や果實が栽培される。

チベット・青海省 平均四千メートル餘の高原で、氣温は低く、乾いてゐる。高原上にそびえる山脈の形狀

はなだらかであるが、トランスヒミラヤには六千六百メートルの高山がある。黄褐色の山地中、所々に塩湖が分布する。

チベット人の衣服は蒙古人に似てゐて、主食は蕎麥粉である。生産に乏しいが、塩は重要であり、やくは特有の家畜である。チベットでは喇嘛教主が政治と宗教の權力を握り、首都はラサで、壯大な宮殿が建てられてゐる。

外蒙古 草地と沙漠が廣いが、北部と西部には山地が縁どつてゐる。

蒙古人は喇嘛教を信じ、包を家として、主に牧畜に従事する。原野が廣いので、男女共に騎馬の術に巧みである。首府はウランバートル（ヘクローン）で、喇嘛教の大寺院がある。アルタンブラクはシベリヤとの貿易都市である。

(三) 印度支那半島

自然 ヒマラヤの東端をさへぎつて南に向かう山脈の列は、印度支那山系と呼ばれる。ソンコイ・メーコン・メナム・サルウィン・イラワジ等の上流は山脈間

に峡谷をなしてゐるが、下流には低平な平野をつくり、重要な生産地となつてゐる。シヤムとビルマの國境地帯から長いマレー半島が突出して、ボルネオ海と印度洋とを分ける。

気温は一般に高く、四季の區別は明瞭でないが、冬は北東季節風が吹き、南支那海岸とマレー半島の東側以外は乾期となる。夏は南西季節風の影響で、一般に多量の雨が降る。植物の發育は気温が高いために旺盛で、平野では巨大な竹が叢生し、水田の周圍には檳榔樹が並ぶ。

文化 住民は印度支那族と總稱され、山中に居住して焼畑耕作に従事するものもあるが、多くは低地で米作を行なつてゐる。一般に佛教の感化が著しい。

シヤム人はバンヌと名づける衣服を着て、涼しい木造家屋に居住する。南部の海岸地方にはマレー族が住んで、水邊にある村落が多く、水の上に茅葺の浮家の群るところも少くない。ヨーロッパ人はベランタを設けた涼しいバンガローに居住してゐる。華僑は各地に住み、商業に従事するものが大部分で、強い經濟的勢

力をもつてゐる。

米の收穫は年に二回以上のところもある。栽培技術が低いために收穫率は大きくないが、アジアでは重要な米の輸出地となつてゐる。山地の森林からはチークのほか紫檀及び黒檀を産し、木材の運搬には象が使用される。貴重な塗料を供給する諸種の有用樹木も多い。

處誌 佛領印度支那 コーチ支那・カンボジャ・安南及びラオス・トンキンの地方があり、フランスは總督をカタイに置いて全土を統治する。住民の多くは安南人である。ソンコイ・メーコンの三角洲には米の産額が極めて多く、東京米及びサイゴン米の名で輸出される。サイゴンはメーコンの下流にあり、コーチ支那の首邑である。有名なアンコールワットの遺蹟は密林中に發見され、昔の壯麗な建築を偲ばせる。

シヤム 佛教の國と稱されるほど、國民の佛教に對する信仰が厚い。メナムの流れは廣い三角洲をつくり、河水は氾濫し易いが、シヤム米の産地として有名である。中心都市バンコクはメナム川を挟んで發達し、壯麗な寺院が多い。

ビルマ 英國の直轄植民地である。中部には石油の産が多い。イラワジの流域には米を産し、その輸出港は首邑のラングーンである。舊都マンダレーには有名な佛寺が多い。

英領マレー マレー半島の南端部を占める丘陵性の土地である。海岸地域には椰子がよく茂り、低い丘陵には鮮緑のゴム樹林が生育してゐる。ゴムと錫とは世界一の産額を有し、良質の鐵礦も採掘される。シンガポールは南端の一小島にある重要な伸鐵貿易港である。周圍の地方から移民が集り、人種博物館の觀がある。

四、マレー諸島

自然 スンダ諸島の弧狀列島は、スマトラ・ジャワからチモール及びセラムの島々を経て、モルッカ諸島へも連絡してゐる。フィリピン群島の南部では複雑な形に分岐する島列が、甚だしく屈曲したセレベスと塊狀のボルネオに続き、その間に多くの内海を挟む。山地の高度は大きくないが、火山には雄大なものがあり、活火山も少くない。

概して高温多湿な熱帶氣候を示すが、赤道附近を離れた南部と北部では、雨期と乾期が明瞭で、乾期の朝夕は爽涼である。山地にはラワン巨木が多く、南洋材として伐採される。

文化 住民はマレー人で、マレー語は廣い地域で使川され、宗教は回教が普及してゐる。山地では焼畑をつくり、平地では水田を耕作する。ヨーロッパ人としては蘭人が最も多く、涼しい高地に暑を避けて健康を保つてゐる。華僑は風土に順應して、到るところの都市に居住する。一般に日中の日盛り時に午睡の習慣があり、水浴の習慣と共に熱帶の保健法となつてゐる。諸島の地味は肥沃であつて、特に火山質土壤の地域では收穫が多い。ジャワ・フィリピンの開拓地ではゴム・甘蔗・規那等の諸種の植栽農が大規模に行なはれてゐる。まだ實際に手を入れられてゐない原生林が到るところに残つてゐる。

蘭領東印度 ジャワ及びマズラは、蘭領東印度の中で最も重要な土地で、殆ど完全に開拓が行なはれ、人口密度は極めて大きい。農産物は豊富であり、特に砂

糖の輸出額はキューバに次ぎ、世界に於ける現那の殆ど全部がこの地方から産出される。パタビヤは東印度の首邑であり、スラバヤと共に貿易港で、熱帯植民都市の典型となつてゐる。バンドンは火山に囲まれた高原の都市であり、ボイテンゾルグには世界的に有名な熱帯植物園がある。

スマトラには原生林がまだ廣く残され、高地には原住民の村落が散在する。石油の産額はボルネオと共に多く、バレンパンの油田は知られてゐる。バンカ・ピリトンには花崗岩の山があり、錫の鑛床が多い。

セレベスには三千メートルに達する高山もあるが、高原には耕作地があつて居住に適し、マカッサルやメナドの港がある。

ボルネオは蘭領と英領に分けられてゐる。大部分の土地には密林が繁茂し、低湿な平野では熱病にかゝり易く、開拓は困難である。交通はまだ河流に沿つて行なはれ、汽船と小舟が使用される。山中にはダイヤ族が住んで、錦蛇や鰐の皮を交易品とし、海岸の低地では華僑が河中に舟を浮べて居住する。各所に油田が多

く、石油は重要な輸出品となつてゐる。

フィリピン 住民はフィリピーノと呼ばれ、イスパニヤ系のものが多く、色は淺黒く、背は高くない。山地にはイゴロト族が住み、急な山腹に石垣を築いて、みことな階段状の水田を耕作する。煙草はルソンの北部に産し、アバカは、颱風の少ない南部の島々に栽培され、マニラ麻の原料となる。最近獨立を許され、首府はマニラである。千五百メートルのバギオ高原は避暑地として利用され、自動車と飛行機の便がある。

(四) 印 度

自然 半島部は主にデカン高原の土地で、東に傾く臺地を現し、西の急斜面は西ガッソ山地と呼ばれる。南東部に近くセーロンの大島があり、中央部には高山がそびえてゐる。北部にはヒマラヤ山地がそびえ、エベレストは世界の最高峰で、カンチェンジュンガなどの八千メートル以上の高峰と共に、氷河をいたゞいてそゝり立つてゐる。ヒマラヤの南にはヒンドスタンの平原があつて、大部分はガンジス・ブラマプトラ並びにインダスの沖積平野である。ヒマラヤに續くカラ

コルム山地にも八千メートル以上の峻峰がそびえ、長大な氷河が見られる。

氣温は一般に高いが、冬には北部地方で少し寒さを感じるときがある。降雨は夏の季節風によつて起り、六月から十月までは雨期で、しばしば驟雨が襲ひ、マラバル海岸やアッサム丘陵では特に雨量が多い。十一月から五月までは、南東部をのぞいて乾期となり、四月・五月は最も著しく、酷暑を防ぐために部屋の窓は密閉されるほどである。インダス川の流域は雨が少く、沙漠を現すところもある。

文化 三億八千萬の人口を有し、古い文化を保存する。半島南東部には先住民のドラビダ族が残存するが、大部分はヒンズー族の印度人である。皮膚は褐色で、袈裟に似た緩かな衣服を着る。食物は米を主とし、カレー粉を用ひる風がある。住民の約七割はヒンズー教徒で、ガンジスの河水で身を淨める儀式は有名である。回教徒の数はその三分の一に足らぬが、兩者の融和は困難である。

印度では總督を置いて全土を統治してゐる。住民の

七割は農民で、米と砂糖のほか茶及びジュートの産額は甚だ大きく、綿と小麦の收穫も多い。牛の頭数は世界第一であるが、主に役牛として飼養される。最近紡績及び製麻などの工業も著しく發達した。

産業 デカン高原は乾燥してゐて、溜池を利用して灌漑を行なふところも少くない。綿の栽培は高原の西北部に最も盛んである。ボンベイは西岸には珍しい良好な碇泊地で、綿の輸出が多く、紡績業が盛んである。東岸のマドラスからは綿・皮革を輸出する。

ブラマプトラ及びガンジスの平野は、米とジュートの主要な産地である。アッサムの丘陵地には大規模な茶園があり、ガンジス上流の土地とパンジャブの乾燥地は、灌漑によつて小麦の産地となつた。カルカッタは主要な貿易港で、製麻工業が盛んに行なはれる。首府は舊都デリーの新市街をなすニューデリーにある。

ヒマラヤ山地は低い平野から急にそびえ、山腹にあるダージリンの避暑地には、登山鐵道が通ずる。デリー北部のシムラは夏期の首府となる。北西部のカシミール地方からはカシミヤの毛織物を産する。ヒマラヤ山

中にはネバル・ブータンの二王國があり、英國の勢力下にある。

セーロン島の山地では、茶の栽培が行なはれ、紅茶の良品を産出する。コロンボは重要な港市である。

四 西部アジア

自然 バミル高原から派出するヒンズークシ・スリマン等の山脈は漸次に高度を減じ、イラン高原の周圍に岩石の露出した連山を現す。エルブールズ山脈はカスピ海にのぞみ、高山には氷河が發達する。アラビヤの沙漠臺地はペルシャ灣に向かつて低くなり、メソポタミヤ低地はチグリスとユーフラテスの流域に當る。氣候は一般に乾燥し、北部の冬は相當に寒く、地中海の沿岸では冬に雨が降る。

文化 住民はイラン・アラビヤ・トルコの諸族で、すべて回教を信ずる。手工に巧みな種族が多く、精巧な織物を産する地方が少くない。乾燥地に適應して生活し、家屋は煉瓦か、しづくひで築かれ、平屋根或は丸屋根が多い。地中海の沿岸では農業も可能であるが、一般には遊牧生活を送り、隊商となつて商業を営むも

のも多い。灌漑によつて耕作の行なはれる地域では、くろ・無花果・蜜椰子等の果樹が栽培される。トルコ・イラン・アフガニスタン等の獨立國と、英・佛に統治されるか或はその勢力範圍に屬する小國とがある。

産業 イラン地方 山地の水を遠くまで導く水路は、沙漠の中に獨得の景觀を現す。小麦及び綿のほかに阿片が栽培され、草地では羊・山羊・駱駝等の遊牧が行なはれる。平坦な高原では水平に廻る風車を利用して穀物をひくところもある。高價なペルシャ絨氈はこの地方の特産で、婦女はその緻密な家内工業に従事する。メソポタミヤ低地の附近には豊富な油田がある。首府のテヘランは高原の都市で、隊商貿易の大市場である。

トルコ 東部のアルメニヤ高原と小アジア半島のほか、バルカン半島の一部を含む共和國である。乾燥した草地が廣く分布し、遠い山麓から水を引いて農業を行なふ。地中海沿岸では葡萄や無花果を栽培し、乾果として輸出する。

この國では諸種の革新が行なはれた結果、固有のト

ルコ文字を廢してローマ字を使用し、トルコ語を被る風習も見られなくなつた。首府はアンカラである。

イラク メソポタミヤの平野が國土の主要部をなす。住民はアラビヤ人で、灌漑によつて農業を営み、蜜椰子の産額が多い。石油はモスル附近から多く産し、英人の資本で採掘される。立憲君主國であつて、首府はチグリス川にのぞむ古都バグダードである。

アラビヤ 平坦な沙漠臺地の表面をきざむ空谷が多く、紅海にのぞむ斜面は赤褐色の岩山を見せてゐる。草地には良種の馬を産し、運搬には駱駝が使用される。

サウジアラビヤ以外は英國の保護國である。メッカはマホメットの生地で、巡禮者の多く集るところである。エーメンの地方からは良質のコーヒーを産する。

英領のアデンは一木一草を生じない岩石地の港で、丘陵の下に極風の家屋が並び、飲料水は谷間の貯水池に溜めた雨水を利用する。

シリア・パレスチナ・ケラク ジョルダン地溝が南北に走り、死海の湖面は海面下四百メートルのところにあ

る。死海の湖面は海面下四百メートルのところにあ

(一) シベリヤ

自然 ヤブロノイ・スタノボイ・ベルホヤンスク・シホタ等の山脈はあまり高くなく、森林が繁茂してゐる。カムチャツカ半島には急峻な火山體が三千メートル内外の高さにそびえ、活火山も多く、その延長は千島列島に續いてゐる。海面下千メートルに達する清澄なバイカルの大湖は、地溝にたへられた湖である。オビの流域は低平な土地で、北部には沼澤地が多く、レナ・エニセー兩河の間は臺地性である。

氣候は著しく大陸的で、夏は晝が長く暖いが、冬は嚴寒で地面が凍結する。針葉樹・白樺の密林が廣く分布し、間には濕原が存在し、夏はシベリヤ鐵道の沿線に美しい草花が咲き亂れる。南西部は乾燥して草地をなし、極寒の北極海沿岸地方は凍原となつてゐる。

文化 住民の九割はスラブ族で、主にシベリヤ鐵道

沿線の黒土地帯及び河谷に沿つて住む。沿線附近は、農耕と近年になつて發達した鑛工業との地帯をなしてゐる。原住民は数が少く、狩獵を生業として、原始的生活を送つてゐるにすぎない。

農業は、オビの上流の草原地域や、シベリヤ鐵道沿線に盛んで、小麦のほかには大麥・燕麥等の穀物が栽培され、大農法が次第に普及してゐる。林業はまだ發達しないが、森林地ではシベリヤへ移民を導いた黒貂・狐等の貴重な毛皮獸が捕獲される。高緯度の地方にある都市は、主に毛皮取引によつて發達したものである。オホーツク海及びベーリング海の沿岸には、鮭や蟹などの盛大な漁場があり、夏期大規模な漁業が行なはれる。海上では工船を使用し、沿岸には工場が開かれて罐詰を製造する。

シベリヤ鐵道はシベリヤ開拓に重要な役割をもち、極東と歐洲を連絡する唯一の鐵道である。支線ではトルクシブ鐵道が重要であり、シベリヤ鐵道に並行するバム鐵道は工事中である。航空路は東部の沿岸地方まで達し、主な都市を連絡する。

しい様式の建築が少くない。

イ 中央アジアとコーカシヤ

中央アジア この地方は西部シベリヤの南方に續くソビエト聯邦の領土である。キルギスやツランの草地がひろがり、西部の廣い窪地に裏海がたへられてゐる。氣候は乾燥して内陸流域が廣く、アム川とシル川はアラル海に注ぐ。

住民はトルコ族で、河谷の地域では灌溉によつて農業を行なひ、草地の地方では、厚い毛氈をつくつた圓形の天幕に住み、馬・羊・駱駝等の遊牧生活を営む。

ソ聯邦の綿と生絲を自給自足するに必要な地域は、南東部のウズベク共和國である。タシケントとサマルカンドは泉地都市で、隊商が集る。

コーカシヤ こゝは裏海と黒海の間を占めるソ聯邦の領土である。高峻な直線狀のコーカサス山脈によつて北部と南部とに分けられる。有名なバクーその他の油田があり、原油は鐵管で黒海沿岸のバツムに輸送される。住民は多くの種族を含むが、ジョージヤ族はコーカシヤ人の代表として知られてゐる。南部の首邑

大都市以外では丸太の小屋に住み、豊富な薪材を焚いて長い冬の寒氣を防いでゐる。

處誌 東部の沿岸地帯ではニコライエフスクが主要な漁港であり、ウラジオストクはシベリヤの海港をなす。ババロフスクは極東地方の政治都市で、近くにコムソモリスクその他の新工業都市が發達した。

樺太は山地が多く、森林と所々にある炭田及び北部にある油田が主な資源である。南部には近代式のバルブ・紙・人絹の工場が、所々に建設されてゐる。農業は河谷に營まれる程度にすぎないが、沿岸では春期の鯉が豊富な漁獲高を擧げてゐる。北知床半島南方の海豹島はおつとせいの繁殖地として知られる。北のアレキサンドロフスクと南の豊原は首邑である。

オビ川上流のスターリンスク、エニセー川上流のミヌシンスク附近には、豊富な炭田があり、水力電氣のほかに火力による電力が利用され、金屬及び化學工業地帯として發展した。オビの沖積平野の南部にはトムスク・オムスクの都市があり、植民地都市の景観を示す。ノボシビルスクは急激に發達した近代都市で、新

はチフリスで、北部はロシア共和國に屬する。

六 大 洋 洲

自然 大洋洲は、最小の大陸オーストラリヤとニュージーランド、及び太平洋の中央部に赤道を挟んで南北に散在する諸島とからなる。オーストラリヤ大陸はニュージーランド・タスマニアと共にオーストララシヤと呼ばれ、太平洋諸島はメラネシヤ・ポリネシヤ・ミクロネシヤの三區に分けられる。

オーストラリヤ大陸の南東部と南西隅は氣候温和であるが、内部は一般に雨量が少く、草地・沙漠が廣い。島嶼はいづれも狭小であるから、單調な海洋性氣候を呈し、暑熱に苦しむことは少いが、氣温と湿度は常に高い。植物は海流に運ばれて各地共通のものが割合に多いが、ニュージーランドとオーストラリヤには珍奇な植物が多い。

文化 住民の一つであるポリネシヤ人は、教化されてヨーロッパ文化の恩恵に浴してゐる。英領は最も廣

い面積を占め、米・佛・蘭の諸國も島々を領有してゐる。

オーストラリア及びニュージーランドでは、ヨーロッパ人によつて、大規模な牧畜及び農業の經營が行なはれてゐる。その他の地方でも、ヨーロッパ人の指導によつて、諸種の栽培が行なはれてゐるが、ハワイ諸島のほかは産業上著しいものは少く、島々の價值は概ね交通・通信によつて決定せられる。

(一) オーストラリア(濠洲)

自然 東部高地は東海岸に沿つて連なり、高度は著しくないが、南部をオーストラリアアルプスといふ。バス海峡を隔てて、タスマニア島がある。西部の高原は全大陸の約三分の二を占め、一般に臺地性である。低地としてはダーリングの流域が最も重要である。アラフラ海はニューギネヤとの間にあり、淺海である。北部は熱帯で、不健康地をなすが、南東部から南部は温帯に屬する。北部の沿岸は夏の雨量は多いが、冬の乾燥が甚だしいため、樹木の疎な草地を現す。南部の沿岸は夏は乾燥するが、冬には適度の降雨があるの

で、葉の堅い樹木が生育する。東部山地の東側には年中適度の降雨があり、森林が繁茂し、諸種のユーカリ樹が生育する。

西部高原の大部分と中央低地は乾燥して草地が多く、内部は廣く沙漠をなしてゐる。動物には特有の種類が多く、大小各種のカンガルーやエミューのほか、森にはインコの類が飛び、そのほか特有な鳥類も少くない。

文化 原住民はオーストラリア人で、原始的な生活を營んでをり、これに類似したタスマニア人は既に絶滅した。現在では住民の九割以上が英人である。六州、一地方からなる聯邦を組織し、首府もカンベラに置くが、殆ど獨立國の體裁を備へた自治領である。

鐵道網は南東・南西部にやゝ密であるが、各州間の連絡は不便である。自動車の利用が進み、飛行機は沿岸の諸都市を結んでゐる。

産業は農牧業を第一とするが、人口の少いことと乾燥地が廣いために、開拓されたところは僅かに全面積の二割にすぎない。農産物の中で小麦の産額は最も多

く、南西部・南東部に栽培されてゐる。更に重要なものは牛・羊の牧畜業で、殊に牧羊の規模は世界一であつて、羊の國と呼ばれてゐる。乾燥地では、家畜の飲料水を主目的として、鑽井の利用が廣く行なはれてゐる。

礦産物の中で産額の多かつた金鑛は、今では著しく減少した。石炭は東部高地の所々に産する。水産業はあまり振るはないが、北部海岸の真珠貝の採取は知られてゐる。

輸出品では、羊毛が重要な位置を占め、金・大麦・小麦・肉類等を共に、總額の九割以上に達する。輸入品としては機械・織物等の製品が大部分で、英本國との貿易は全貿易額の半ばに達する。

處誌 東部山地の北部は海に迫つてゐて、海岸には港灣が多く、タウンズビル・ブリスベーン等は知られてゐる。淺い内海を隔てて、防波堤のやうに二千キロも続く珊瑚礁は、グレートバリアリーフと呼ばれる。

南東部のニューサウスウェールズ州及びビクトリア州の沿岸は、第一の文化地帯で、狹長な平野には柑橘

などの果樹園が多く、乳牛の飼育も盛んに行なはれる。

シドニーは入江に發達した美しい良港である。産業の盛んな後背地を有し、附近には埋藏量の多いニューカッスル炭田などがあり、第一の貿易港となつてゐる。

南部のメルボルンはこれに次ぐ港市である。

山中の首府カンベラでは、理想的な都市計畫が施され、環狀及び放射狀の整然とした街路が見られる。雨量の少いマレー・ダーリング盆地は、牧羊地帯であるが、大規模な灌溉工事による小麦の産額も多い。港市アデレード附近も農業に適し、小麦と葡萄とを産する。西部の内陸は廣い沙漠狀の乾燥地で、カルグーリー・クールガルジー等は、金山附近に急速に發達した鑛山町である。

南西部の沿岸地帯は、地中海性のよい氣候で農業が發達し、パースは代表的な都市である。北部は熱帯地域であるが、草地が廣く分布し、牧牛地として有望である。ダーウィンは良好な碇泊地で、縦斷鐵道の完成後は重要な港になると豫想される。

タスマニア島は山がちで、氣候が溫和であり、大陸

の保健地として知られる。りんごの栽培が行なはれ、ホバートは主要な都市である。

(二) ニュージーランド

クック海峡を隔てて北島と南島が並ぶ。南島のサウザンアルプスには、クック山の高峰がそびえ、氷河をいたびてゐる。南西部には峡湾が發達して、山海の風光は雄大である。北島には秀麗な火山が多い。平地の少ないことや、地震と温泉の多いことなどは、わが國とよく似てゐる。

氣候は溫和であり、西風が多いため、雨量は西側に大で、殊に南島の高山には多量の降雪がある。

土人は、ポリネシア族に属し、比較的文化的に進んだマオリ人である。勇敢を以て聞えたこの種族は、割合によく保存されてゐる。住民の大部分はイギリス人で、自治領を建設してゐる。

牛は北島の濕潤な低地に多く、バター・チーズの品質は極めてよく、冷凍肉と共に重要な輸出品である。牧羊と小麦の栽培は、主に東側に行なはれ、農牧業に重點をおくことは、濠洲と類似してゐる。首府はウェリントンで、オークランドは第一の貿易港である。

自然 太平洋の中央部を占め、赤道を挟んで南北に散在する。諸島の中には、高い火山島と低い珊瑚礁島が少なくない。一般に高温多雨で、赤道に近い島には密林が繁茂する。ポリネシアでは、南北回歸線附近から貿易風が規則正しく吹いて、高い島では、風上は森林、風下は乾燥地となつてゐる。ミクロネシアの島では、驟雨性のスコールが起り易く、マーシャル群島以西は颱風の發生地である。諸島の海岸にはタコノ木や椰子などが廣く分布する。

(三) 太平洋諸島

文化 住民はメラネシア人・ミクロネシア人・ポリネシア人の三種に分けられ、山地には甚だしく未開の倭人種もゐる。海岸に住むものはタロ芋・パンノ木・椰子樹等の栽培と漁獵を營み、獨木舟を使用して巧みに長途の航海も行なふ。概して音楽及び技藝の方は發達してゐるが、算數の能力は劣つてゐる。一部は甘蔗・熱帶果實の栽培、コブラの生産、燐礦の採掘に従事する。

大體に於いて南西部に英領、南東部には佛領、北東部には米領の島が多く、キリスト教が廣く傳導され、原住民の保護はよく行なはれてゐる。

言語 メラネシア ニューギネヤ(パプア)はわが國の二倍もある大きな島で、中央には高い山脈が走り、萬年雪をいたゞく五千メートル以上の高峰もある。一般に高温多雨の土地で、海岸から直ちに大森林が生ひ茂り、山地には椋樂鳥などが飛ぶ。住民はバプア人で、主に高原に居住して甘藷を栽培し、毒矢を用ひて狩獵を行なひ、高い柱や樹上に家を建てる。河岸の濕地に住む種族は、サゴ椰子の澱粉を食料とする。この島の探検はまだ進まないが、最近は何種な領土も、次第に發見されて來た。

佛領のニューカレドニアはニッケルの産で聞えてゐる。

ポリネシア ソシエテ諸島中のタヒチは佛領太平洋諸島の主島で、風光が美しく、太平洋の樂園と稱される。

米領ハワイ諸島は火山列島である。ハワイ島には、

著しく緩傾斜でしかも高さ四千メートル以上に達するマウナケア・マウナロアの火山があつて、山頂には積雪を見ることがある。直徑五キロの大火口に眞紅に輝く熔岩湖をたゞへてゐるキラウエヤは、國立公園で、山頂まで自動車道が通ずる。

住民の大部分は移住民で、農業に従事する。甘蔗の島が多く、バイナツプルの栽培も盛んに行なはれる。オアフ島のホノルルは首都で、熱帯性花木が咲き亂れた美しい港である。西方のミッドウェー・ウェーク兩島は珊瑚礁の島で、あはうどりの營巢地であり、水上機の航空港に利用される。

ミクロネシア 西部のマリヤナ群島は、小笠原諸島から續く火山島が主である。カロリン群島では、丘陵性の島や、古い火山島の周圍に珊瑚礁が發達するものが多く、トラックは世界で有數の大堡礁である。東部のマーシャル群島には低い環礁が並ぶ。

カロリン群島中のアンガウル、マーシャル群島の南端にあるナウル・オーシャン等の島に堆積する燐礦は、重要な資源である。原住民はチャモロ・カナカの

二族で、キリスト教を信ずるものが多い。

七 兩極地方

(一) 北極地方

グリーンランド・スバルバード(スピッツベルゲン)・ノバヤゼムリヤ・フランツヨセフランド等の島々の散在する北極海では、二年の大半は凍結し、夏も厚い海氷が浮かんで航海は困難である。最近漸くシベリヤ沿岸の航海がソ聯によつて開拓された。

陸地は廣大な氷河に包まれて、廣く無人の地をなしてゐる。グリーンランドは高さ三千メートルに達する高原で、厚い氷河におほはれ、低地には白熊が棲む。南西部の海岸にはエスキモーが狩獵や漁業を營んでゐる。スバルバードは石炭の産地で、捕鯨の根據地となる。氷河と岩石の美を賞するため、夏期には遊覧船の航海がある。

(二) 南極地方

南極大陸は一面に厚い氷河でおほはれ、近海には平

な氷山を漂はしてゐる。冬期は風雪が吹き荒み、北極地方と同じく暗夜にひらめく極光を見る。ロシアの沿岸には、エネブスなどの活火山があつて、氷雪の中から噴煙をあげてゐる。北極地方より更に氣温が低く、植物は全くないが、氷山の上には諸種のペンギン鳥が棲息する。附近の海中には鯨の群が游泳して、捕鯨船の活動舞臺となつてゐる。

(終)